

## 相談援助演習科目におけるシナリオ面接訓練法の開発

—シャドーイング法（同時通訳・外国語習得）との出会い・学び・導入—

佐々木政人

## Developing a Training Model of Social Work Interviewing

—Scenario Shadowing Methods for Social Work Interviewing Training—

Masahito Sasaki

**要旨：**近年、ソーシャルワーク援助過程の理解と演習科目にシナリオ面接教授法が導入されている。大変興味深い動向である。筆者も同様に、2015年度より実験的に本メソッドの導入を試みている。本研究ノートでは、その試みの一端を簡単に整理する。活用する教育訓練モデル及び理論的背景は、(1) ソーシャルワーク面接技法（マイクロ技法）モデル、(2) 同時通訳シャドーイングモデル（外国語訓練モデル）、(3) PCAGIP 事例検討法モデルである（PCAのカール・ロジャーズ面接事例研究モデル）である。将来的には、バイリンガルソーシャルワーカーの育成モデル開発を含む実践的演習教授法の開発につなげたい。

**Keywords：** ソーシャルワーク専門教育 相談援助演習法 シナリオ・シャドーイング教育法  
Clinical Social Work Education; Interviewing Techniques; Scenario Shadowing Methods

### 1. はじめに：外国語シャドーイング法との出会いと学び

筆者は、欧米におけるソーシャルワーク実践の展開と発展に関心を持ち研究をしている。ソーシャルワーク実践をはじめ対人援助職には、多様な「コミュニケーション」能力が要請される。大学院時代での研究テーマ『援助専門職の教育：ソーシャルワーカー養成の課題』を契機に、筆者が渡米を決意し、その準備に入ったのは1974年頃であった。

ゴードン・ハミルトン、フローレンス・ホリス、キャロル・マイヤーはもとより、ライフモデルの創案者である、アレックス・ギッターマン&キャレル・ジャーメインらの北米のソーシャルワーク実践を肌で感じ、その状況を理解するためであった。また、カール・ロジャーズ、ポール・ワツラビック、サルバドール・ミニューチンらの心理・家族療法家をはじめ、バージニア・サティアなど、ソーシャルワーク実践、特に面接技法に影響した先人等のワークショップへの参加にも関心をもっていた。留学にとって必須な「語学力」と援助専門職として要求される「コミュニケーション力」の向上は、当然のことながら渡米の必須条件であった。

語学能力とコミュニケーション能力の向上のための努力をしなければならぬ状況下で、出会った多くのチャンスに感謝している：

(1) The Study of Current English: SONOPAK Sept. 1974 研究社

(2) The English Journal: A Monthly Magazine in Sound, 1976, ALC

専門分野であるソーシャルワーク系文献を通しての学びと理解をはじめ、「読む」、「書く」、「話す」の準備のための時間は楽しみではあったが、苦痛でもあった。根気との戦いだったような気がする。特に当時は、日本の語学教育は、海外の文献を講読することに焦点が当てられた教育で、「聞き取る」と「話す」の訓練教育にはあまり重きを置いていなかった。

この「聞く」と「話す」に関連する「語学能力」を伸ばすための努力不足を補ったのが、上記の語学カセット教材であり、現在開発を試みているシナリオ・アフレコ・シャドーイング法（面接技能訓練教育法）開発の貴重なヒントと契機となっている。筆者にとっては、当時はシャドーイング法と類似した語学訓練法は、繰り返し法に依拠する「音読訓練法」であった。しかも自己流そのものであった。今回の研究ノートでは、この体験からの学びを基盤に、「外国語教育法（シャドーイング法）」を活用した「相談援助演習科目におけるシナリオ面接訓練法」の開発ならびにその導入課題について論述する。

本論の基盤となる実践的研究理論は以下の3つである：

(1) ソーシャルワーク面接技法（マイクロ技法）：面接技法の訓練モデル

アレン・E・アイビーらが開発し、今日ソーシャルワーク教育で多くの知見と影響を与えている。特に、相談援助の具体的な面接技法の一つとして継続的に活用されてきている。ケースワークの7つの原則を実践の場で効果的に展開するための重要な面接技法、介入技法である。周知の通り、関わり技法、開かれた質問技法、感情の反射（反映）技法をはじめ、要約技法、指示を与える技法など、コミュニケーション技法の基本と位置づけられている（アイビー 2010）。

(2) シャドーイングメソッド：シナリオ・シャドーイング訓練モデル

鳥飼らは、『シャドーイング』とは、英語の shadow（影のようにあとについていく）という動詞から出現している語で、『聞こえてくる音声を、ほぼ同時にあるいは少し遅らせて、できるだけ正確にくり返すこと』と定義づけている（鳥飼・玉井他 p. 8）。詳細は後述する、4. シナリオ・アフレコ・シャドーイング法：「まねること」は「学ぶこと」にゆずる。

(3) PCAGIP 事例検討法：クラス運営の基本モデル（ピア・スーパービジョンのモデル）

PCA（Person-Centered Approach）GIP（ピカジップ）の略である。カール・ロジャーズのパーソン・センタード・アプローチを基盤としている。村山らは、「事例提供者が簡単な事例資料を提供し、ファシリテーターと参加者が安全な雰囲気の中で、その相互作用を通じて参加者の力を最大限に引き出し、参加者の知恵と経験から、事例提供者に役立つ新しい取り組みの方向や具体策のヒントを見出していくプロセスを共にするグループ体験である」と定義している（村山・中田他 p. 12）。

このPCAGIP教育モデルは、心理的な動揺感とアンビバレントな気持ちに対応するためのエネルギー源である。本面接訓練実施・展開過程全体を網羅する基本理念でもある。

## 2. 相談援助演習Ⅳの全体的な流れ

現在、筆者は、相談援助系科目の担当をしている（相談援助演習Ⅰ：1年生対象科目，相談援助演習Ⅱ&Ⅲ：2年生科目，相談援助演習Ⅳ&Ⅴ：3年生対象科目）。本教科は、3年生前期科目として位置づけられている。その全体的な流れと内容は以下の通りである（表1&表2）。

### （1）パートⅠ：相談援助演習Ⅳ（前半のねらいと流れ）

ソーシャルワーク専門教育の面接技法には、アレン・E・アイビーらが開発した「マイクロ面接法」が多く活用されてきている。筆者もこの技法の訓練教育を本科目において導入している。ソーシャルワーカーとサービス利用者との人間関係を築く上での基本的なコミュニケーション技法であり、両者間の信頼関係を作るための面接技法である。表1のように、主要なマイクロ技法を学期前半に体験的に学べるように組み込んでいる。ここでは、すでに他教科でもマイクロ技法に関し学んでいる学生もいる関係から振り返りとして、「繰り返し演習」の体験場面を提供している。

なお、各セッションの一連の流れは以下の通りである：

- （1）マイクロ技法のポイントの説明と整理
- （2）ロールプレイングを通じた体験1（ライフサイクル上の体験を語る）
- （3）ロールプレイングを通じた体験2（事例研究およびマイクロ技法の導入）

表1 相談援助演習Ⅳの日程（前半：前期月曜日3時限目）

パートⅠ（個別支援の面接技法の学び）	
日程	授業内容
① 04月15日	自己紹介及びクラス運営について：福祉支援方法の学び
② 04月22日	相談援助演習Ⅰ～Ⅲの振り返り1： （関わり行動／開かれた質問／感情の反射／その他）
③ 04月29日	相談援助演習Ⅰ～Ⅲの振り返り2： （要約／指示を与える／自己表出／その他）
④ 05月13日	相談援助演習Ⅰ～Ⅲの振り返り3： （解釈／誠実さと尊敬／具体性／その他）
⑤ 05月20日	相談援助演習Ⅰ～Ⅲの振り返り4： （即時性／対峙／面接技法に関する総合的振り返り／その他）

主な教材資料は、以下の通りである（導入済み及び今後導入予定の教材）：

#### 相談援助面接技法の基本を学ぶ関連教材

- ①アレン・E・アイビー（2010）『マイクロカウンセリング（福原真知子他訳）』川島書店
- ②前田ケイ（1999）『SSTウォーミングアップ活動集』金剛出版

- ③前田ケイ (2013) 『基本から学ぶ SST』 星和書店
- ④前田ケイ他 (不明) 『生きる力を創る第1巻：SSTの理論と役割 DVD』 ジェムコ出版・メディアパーク実際
- ⑤前田ケイ他 (不明) 『生きる力を創る第2巻：SSTの基本的技術 DVD』 ジェムコ出版・メディアパーク実際
- ⑥前田ケイ他 (不明) 『生きる力を創る第3巻：SSTの実際 DVD』 ジェムコ出版・メディアパーク実際
- ⑦不明 (1965) 『グロリアと3人のセラピスト：Three Approaches to Psychotherapy VHS』
- ⑧松山真 (不明) 『第1巻：初回面接での信頼関係の確立 DVD』 ジェムコ出版・メディアパーク
- ⑨松山真 (不明) 『第2巻：ラポールの確立につながるノンバーバルコミュニケーション DVD』 ジェムコ出版・メディアパーク

#### 外国語シャドーイング関連教材

- ①鳥飼玖美子・玉井健 その他 (2003) 『はじめてのシャドーイング』 学習研究社
- ②投野由紀夫他 (2018) 『NHK ラジオ基礎英語 1～3 DVD』 NHK メディア
- ③井上逸兵他 (2018) 『NHK テレビおもてなしの基礎英語 DVD』 NHK 出版
- ④安井京子 (2003) 『音読して楽しむ名作英文&CD』 はまの出版
- ⑤リサ・ボンド (2010) 『英語で味わう偉人伝&CD』 NHK 出版

#### 家族の成長・ライフサイクル論を理解するための映画教材関連教材

- ①ゲーリー・マーシャル (1999) 『カーラの結婚宣言：The Other Sister DVD』 ブエナビスタホームエンタテインメント
- ②是枝裕和 (2005) 『誰も知らない DVD』 (株) バンダイビジュアル
- ③堤幸彦 (2006) 『明日の記憶 (原作：荻原浩 光文社) DVD』 (株) 東映

#### シナリオ・シャドーイング & 懐メロ回想法への関心を高めるための音楽系基本教材

- ①60代以上：三波春夫 美空ひばり 坂本九 北島三郎 橋幸夫 沢田研二 都はるみ
- ②50代：ピンクレディー 山口百恵 森昌子 郷ひろみ 西城秀樹 小林幸子 松田聖子
- ③40代：安全地帯 福山雅治 ドリカム 榎原敬之 ミスチル 坂本冬美 コブクロ スマップ
- ④30代：安室奈美恵 浜崎あゆみ V6 氷川きよし キンキキッズ ゆず 平原綾香
- ⑤10～20代：嵐 EXILE AKB48 乃木坂 48 星野源 平成ジャンプ Da Pump One Ok Rock
- ⑥海外編：ビートルズ エルビス・プレスリ サイモンとガーファンクル ダイアナ・ロス カーペンターズ マドンナ マイケル・ジャクソン等、本プログラムへの参加者が興味を持っている音楽や DVD 映像を臨機応変に組み込む。なお、(株) テイチクエンタテインメント (2010) 『大人のための抒情愛唱歌 CD』 は、多くの懐メロ楽曲が含まれている貴重な CD アルバムである。

**(2) パートⅡ：相談援助演習Ⅳ（後半のねらいと流れ）**

筆者は、学期の後半を集団援助技法の学びを本科目の中心におき、地域コミュニティとの関連性も考慮しつつ、科目運営に心がけている。平成30年度は、グループワーク支援で、関心が出ているソーシャルスキル・トレーニング（SST）を導入した。

特に、『シナリオで学ぶ SST』は、大変工夫された教材図書として大いに参考になった。授業でも実際に体験場面を多く作り、臨床場面での応用力を意識して、授業を展開した。その流れは次の通りである：

- (1) シナリオに基づき、登場人物の配役を決める
- (2) 全体的な流れを掴むための声出し体験をする
- (3) ファシリテーター、あるいは登場人物に動作をつける
- (4) セッションで活用する掲示資料を作成する（SST参加のルール、良いコミュニケーション、SSTの順序等）
- (5) 導入場面（ウオーミングアップ）におけるゲーム等の小道具を作成する（自己紹介カード、その他）

**表2 相談援助演習Ⅳの日程（後半：前期月曜日3時限目）**

パートⅡ（家族・集団支援の面接技法の学び）	
日程	授業内容
⑥ 05月27日	グループワーク課題：SSTの基礎を学ぶ1
⑦ 06月03日	グループワーク課題：SSTの基礎を学ぶ2
⑧ 06月10日	グループワーク課題：初心者のためのSST1
⑨ 06月17日	グループワーク課題：初心者のためのSST2
⑩ 06月24日	グループワーク課題：作業所でのSST1
⑪ 07月01日	グループワーク課題：作業所でのSST2
⑫ 07月08日	グループワーク課題：家族SST1
⑬ 07月15日	グループワーク課題：家族SST2
⑭ 07月22日	本学期のふりかえり1：（評価表の記入）
⑮ 07月29日	本学期全体のふりかえり2：（前期課題の提出）
<b>（注）なお、授業内容は、都合により変更になる場合もあります。</b>	

また、主な教材資料は以下の通りであるが、特に岩田らの『シナリオで学ぶ SST』は、大変整理されており、授業に導入し易い。本メソッドで活用できる教材は次の通りである。導入においては、多少の工夫が必要となる：

**相談援助面接技法を促進するための関連教材**

- ①前田ケイ(2010)『生きる力をつける支援のために：保護司面接のためのSSTマニュアル DVD付き』日本更生保護協会

- ②岩田泰夫 (2007) 『シナリオで学ぶ SST』 中央法規
- ③高橋重宏 (2015) 『子ども家庭福祉分野における家庭支援のあり方に関する総合的研究 DVD』  
平成 21 年厚生労働科学総合研究事業研究班
- ④林浩康 (2016) 『子ども虐待における家族支援 DVD』 新宿スタジオ (販売&貸出)
- ⑤野村豊子 (不明) 『回想法：①回想法とは何か②セッションの流れ③技法と展開④ケアへの継続 VHS』 中央法規

#### 外国語シャドーイング関連教材

- ①鳥飼玖美子・玉井健 その他 (2003) 『はじめてのシャドーイング』 学習研究社
- ②大西泰斗 (2018) 『ラジオ英会話』 NHK 出版&DVD やその他の NHK メディア
- ③遠山顕 (2018) 『遠山顕の英会話楽習』 NHK 出版&DVD やその他の NHK メディア
- ④NHK 教育 TV 番組： 伊藤穰一の 『スーパープレゼンテーション』
- ⑤NHK 教育 TV 番組： Venetia Stanly-Smith 『猫のしっぽ，カエルの手』

#### 語学・留学準備のための関連教材 (ソーシャルワーク・臨床心理師等の相談援助専門職)

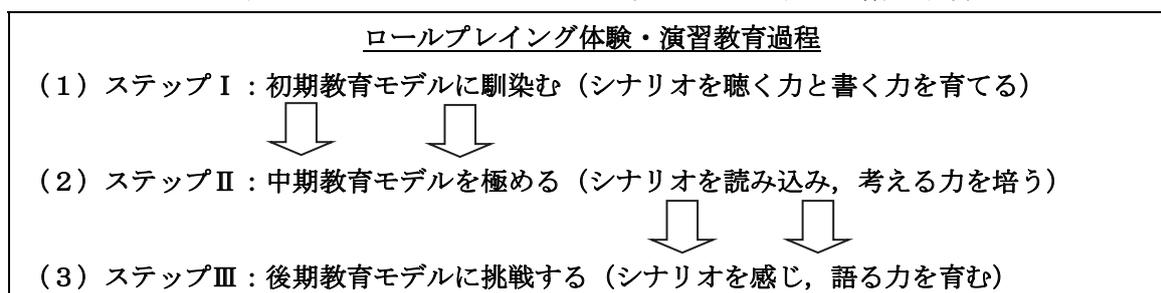
- ①American Psychological Association (2007) 『Working With Children Who Have Experienced Neglect of Abuse with Wes Crenshaw, PhD (日本語字幕 濱野清志監修 DVD)』  
APA
- ②American Psychological Association (2007) 『Bullying Prevention with Arthur M. Horne, PhD (日本語字幕 濱野清志監修 DVD)』 APA
- ③American Psychological Association (2007) 『Harm Reduction With High School Students with Mary E. Larimer, PhD (日本語字幕 濱野清志監修 DVD)』 APA
- ④American Psychological Association (2007) 『Consulting With Teachers with Jon Carison, PsyD, EdD and William Glasser, MD (日本語字幕 濱野清志監修 DVD)』 APA

### 3. 教室でのロールプレイングを展開する場面設定：シナリオ・アフレコ・シュミレーション

本面接訓練メソッドの場面設定は図1の通りである。多様な場面設定は可能であり、教材事例や各種の資料によっても場面設定は異なる。平成31年度に試みる教室設定は、以下の通りであるが、時間割り等、教室の割り当てによって異なることもある。機材の確保と購入費用の捻出が最大の課題であろう。上記の場面設定で、しかも新たにシャドーイング法の導入を試みたい。前述の前半の流れ(パートⅠ：個別面接法)および後半の流れ(パートⅡ：集団面接法)において、その演習教育過程は以下の通りである。

なお、こうした新たな試みを導入するにあたり、学生からの反応、学生が持っている興味、能力にも十分な配慮が必要である。絵に描いた餅、机上の空論にならないように心がけたい。また、参加者の力量や授業の進捗状況によって、適宜その流れを変更し、授業参加者の授業に対する意欲を高める工夫が必要である。

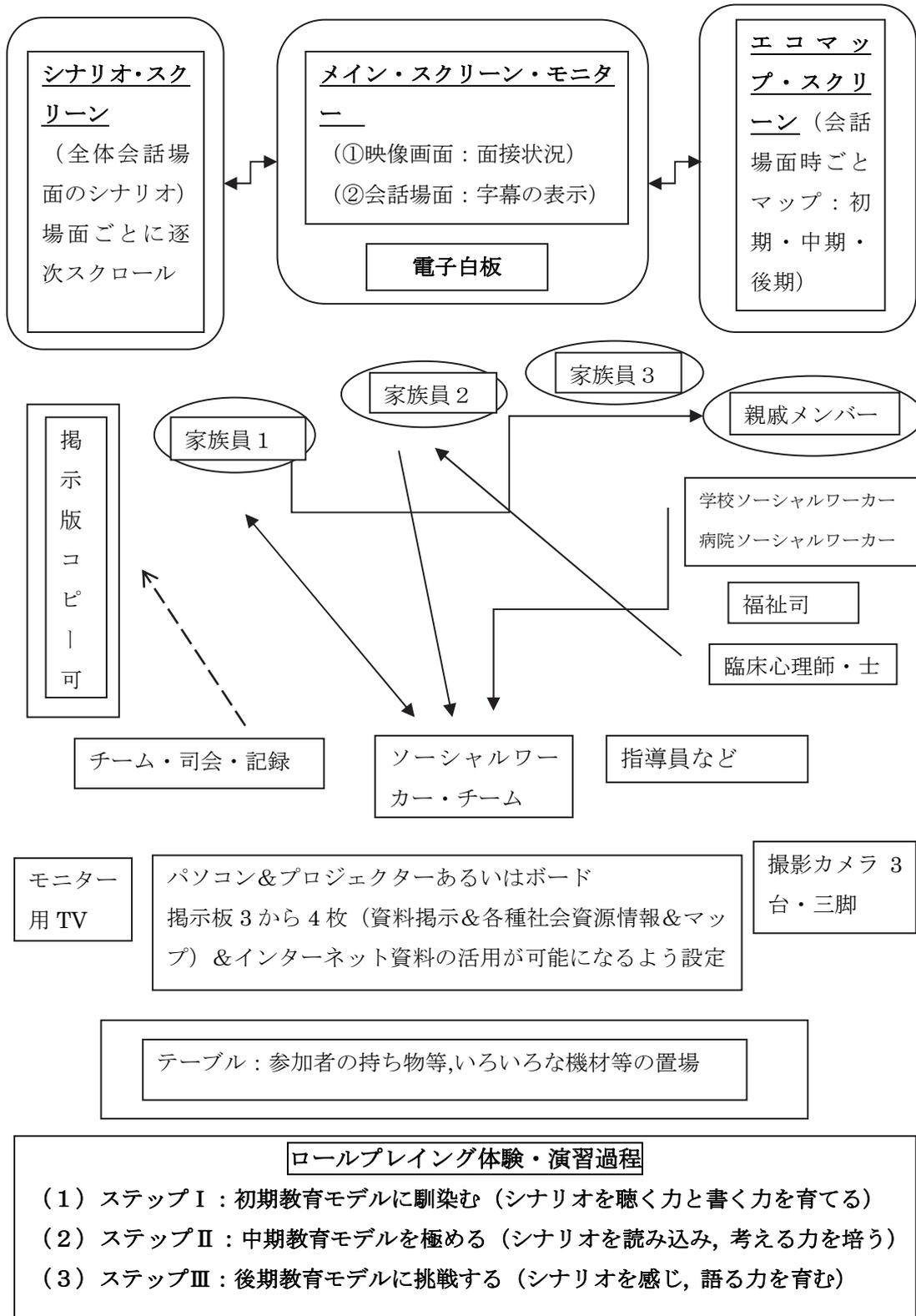
表3 シナリオ・アフレコ・シャドーイング法の段階と手順



メイン・スクリーン（電子黒板等の映像機器）を中心に、面接会話全体が映し出されるシナリオ・スクリーンとエコマッピング・スクリーンは重要である。面接場面が進展するごとに、それぞれの内容が変化するように工夫をしなければならない。字幕付き、『各種の相談援助面接技法の訓練 DVD』、『映画教材 DVD』の活用は、大変有望な教育訓練教材として注目している。面接場面のロールプレイングを通じた体験演習においては、次のような設定と流れが考えられる：

- (1) メインスクリーンで、面接場面全体のシナリオを体感する。事例の全貌・全体把握をする。
- (2) 面接場面のロールプレイングに登場するソーシャルワーカー、援助専門職等、サービス利用者をはじめ、家族メンバーの配役を決定する。エコマップ技法で人間関係を視覚化する。整理したエコマップは、エコマップ・スクリーンに配信し、適宜変化の状況を把握する。
- (3) メイン・スクリーン・モニターに映し出される映像を目で追いながら、担当する配役の台詞を字幕で追う。黙読シャドーイングで次のステップの準備をする。
- (4) 演じる役割のシナリオ台詞をそれぞれ台本スクリプトに書き写す。記録作業は、大変煩雑である。その意味や内容、演じるロールの心の動きなど感じながら、担当配役の台詞を記録することは意義がある。台本整理のためのシートも用意しておくこと効果的である。実際のソーシャルワーク支援における記録の取り方、それを整理するための力を育てることができる。逐語記録の能力の向上が期待できる。シナリオ・スクリーンで、全体の流れが理解できるように整理をしておくことも重要である。
- (5) 台本スクリプトと映像場面のシーンを見ながら、再度、黙読シャドーイングを体験する。
- (6) 次に、声出しシャドーイングを体感する。映像モデルの発話を参考に、声出しシンクロシャドーイングを体験する。多少の恥ずかしさや機械的な声出し体験であるが、参加者の意欲的な関わりが要請される。大変重要な感情移入の実践的過程といつてよい。
- (7) 面接場面の流れの大枠をつかみ、担当するロールプレイングの配役の台詞を参加者各自が表現しやすいように台詞を整理する。より自然な台詞回しになるように、あるいは暗記しやすい台詞に改変する。その際、オリジナルの台詞から大きくかけ離れないように努力する。要約する能力が参加者には要請される（サマライゼーション・シャドーイング法）。
- (8) その他、言い換えシャドーイング法（パラフレイジング）をはじめ、各種のシナリオ・アフレコ・シャドーイングの技法を身に着ける機会である。また、各参加者間の意見調整は重要である。シナリオ・アフレコ・シャドーイングの原点は、協働の精神である。

図1 ロールプレイング体験・演習場面の設定と教育機材の配置（案）



#### 4. シナリオ・アフレコ・シャドーイング法の導入：「まねること」は「学ぶこと」

ソーシャルワーク実践，特に面接技能の訓練においては，コミュニケーション技法の習得を基本に，より具体的には，（１）聴く，（２）書く，（３）読む，（４）考え・話す，（５）その他の能力を伸ばすことが目標となる．教室場面の機材等の設置は図１の通りである．

学期全体の授業展開過程は前述のごとくである．前半のパートⅠおよび後半のパートⅡ，それぞれにおいても一貫して（１）聴く力&書く力を育てる（ステップⅠ），（２）シナリオを読み込み，考える力を培う（ステップⅡ），（３）シナリオを語る力を育む（ステップⅢ）プロセスを大切にしている．要約，整理すると表４，表５，表６に総括できる．その多くの方法論は，外国語学習法であるシャドーイングメソッドの可能性と合致している．適宜授業の展開過程では，その教育・訓練メソッドを活用，導入，採用できる．以下，そのソメッドを簡単に整理する．前述のごとく以下の教育モデルは，鳥飼らが提示している外国語教育のシャドーイング法からの示唆と学びとである（鳥飼・玉井他 2003）．

##### （１）ステップⅠ：初期教育モデルに馴染む

**聴く力と書く力を育てる**：面接訓練では，サービス利用者の思いを聴き，その語りに耳を傾けることが要請される．そのための訓練として，既存事例のモデルを提示し，その内容を聴き，記録する訓練を展開する．その際に活用する教育方法がシャドーイングメソッドにも提示されているサブボーカライゼーション（subvocalization）法である．

表４ ステップⅠ：初期教育モデルに馴染む（聴く力と書く力を育てる）

・・力	専門教育技法	内容
聴く	●サブボーカライゼーション（subvocalization） p. 11	文字テキストを読む際に，頭の中で（意識的または無意識に）声を出して黙読すること．通例，「内言語化」と訳される．（→「内語」）
書く&書き取る	●ディクテーション（dictation） p. 47	外国語学習において，目標言語による音声を聞いて，これを正確に文字に書き起こす訓練を指す．口頭で再現復唱する練習方法をオーラル・ディクテーション（oral dictation）と呼ぶことがある．
	●トランスクリプト（transcript） p. 27	スピーチなどのテープを書き起こした原稿を指す．

注）内語（inner voice）：認知心理学で使われる用語．Baddeleyらのワーキングメモリ・モデルでは，人は聞いた音を作業記憶内の音韻ループ上で「音のない心の声」として一時的に保持していると考えられている．「内的な声」あるいは「肉声的な音」とも言われる．（→「サブボーカライゼーション」「作業記憶」）

引用文献：鳥飼玖美子・玉井健 その他（2003）『はじめてのシャドーイング』学習研究社 p. 11, p. 27, p. 47 & 付録「通訳訓練に関する用語集」から，筆者がソーシャルワーク面接技法関連する外国語シャドーイング技法の定義を適宜抜粋・引用し，上記の表に改変した．

**(2) ステップⅡ：中期教育モデルを極める**

**シナリオを読み込み、考える力を培う：**シンクロ・リーディングやコンテンツ・シャドーイングが本ステップでは、有効であろう。まずはシナリオの読み込みは重要であり、暗記できる程度にソーシャルワーカーの発する言葉、サービス利用者が発する言葉の意味を洞察する契機となる。ソーシャルワーク面接では、信頼関係の構築が主要課題である。支援関係の流れを深く読み込む力をこのセッションでは培いたい。

表5 ステップⅡ：中期教育モデル（シナリオを読み込み、考える力を培う）

・・力	専門教育技法	内容
読む	●サイレント・シャドーイング (silent shadowing) p. 24	聴いた音声を、黙読のように頭の中だけで声を出して行うシャドーイング練習を指す。(→「シャドーイング」)
	●シンクロ・リーディング (synchronized reading) p. 47	モデル音声に合わせてテキストを読むこと（「聞き読み」とも言う）。通常、黙読（または小さい声で音読）で行うが、指導の目的に応じて声を出してシンクロ・リーディングさせることもある。パラレル・リーディングとも言う。
	●コンテンツ・シャドーイング (contents shadowing) p. 47	シャドーイング練習において、特に意味内容に注意を向けながら行う練習を指す。(→「プロソディ・シャドーイング」)
	●シャドーイング (shadowing) p. 8	聞こえてくる音声を、ほぼ同時にあるいは少し遅らせて、できるだけ正確にくり返すこと。訓練の目的に応じて「コンテンツ・シャドーイング」「プロソディ・シャドーイング」あるいは「サイレント・シャドーイング」などのように細かく呼び分けることがある。

注) プロソディ・シャドーイング：シャドーイング練習において、とくに発音、強勢、抑揚（イントネーション）、リズム、ポーズなどの音声要素に注意を向けながら行う練習を言う。

引用文献：鳥飼玖美子・玉井健 その他（2003）『はじめてのシャドーイング』学習研究社 p. 8, p. 24, p. 47 & 付録「通訳訓練に関する用語集」から筆者が、ソーシャルワーク面接技法と関連する外国シャドーイング技法の定義を適宜抜粋・引用し、上記の表に改変した。

**(3) ステップⅢ：後期教育モデルに挑戦する**

**シナリオを語る力を育む：**面接全体の把握は、重要である。その理解をサービス利用へ、伝える面接技法は、マイクロ技法でも要約技法として取り上げられている。パラフレージングの技法も同様に効果的な面接技法である。語る内容の整理は勿論、その確認作業もこの技法を通して

実現できる。「まねること」は「学ぶこと」である。効果的な「繰り返し学習」は「考える」学習力を育む。

表6 ステップⅢ：後期教育モデルに挑戦する（シナリオを感じ、語る力を育む）

・・力	専門教育技法	内容
考 え る & 語 る	● サイト・トランスレーション (sight translation) 付録	原稿を見ながら適切な訳出ユニットごとに順次、目標言語 (target language) に口頭で訳出していくこと、通訳訓練では「サイトラ」と簡略化して呼ばれる。
	● サマライゼーション (summarization) 付録	いわゆる「大意要約」のこと。通訳訓練においては一定の長さの音声テキストを聞き、内容を即座に口頭で要約することを指す。訓練の目的に応じて、元テキスト（起点言語）と同じ言語で要約させる場合と、目標言語への変換を伴う「要約」をさせる場合がある。
	● パラフレージング (paraphrasing) 付録	外国語教育や通訳訓練において、文の内容を別の表現を用いて言い換える練習を指す。通例、同一言語での言い換えを行う。例えば原文の目的語を主語にしたり、意図的に語順を変えたり、抽象的あるいは難解な表現を、より具体的で平易な表現で言い換えるなど、指導目的に応じてさまざまな練習方法がある。

引用文献：鳥飼玖美子・玉井健 その他（2003）『はじめてのシャドーイング』学習研究社 付録「通訳訓練に関する用語集」から筆者が、ソーシャルワーク面接技法と関連するシャドーイング技法の定義を適宜抜粋・引用し、上記の表に改変した。

##### 5. まとめ：シナリオ・アフレコ・シャドーイング法導入上の課題

これまで、シナリオ・アフレコ・シャドーイング法を導入するにあたり、その準備過程について検討してきた。外国語教育におけるシャドーイング法からの学びを通して、ソーシャルワーク領域での専門教育の新たな技法を構築できると考える。なお、新教育メソッドの導入にあたり、多くの課題も存在する。予想される課題は以下の通りである：

- (1) 学生の羞恥心を取り除く工夫
- (2) 学生の関心をいかに引きつけるか、その継続方法
- (3) 相談援助実習との関連性
- (4) 教室への教材・機器設置
- (5) 時間割りとの関係性
- (6) 経済的な課題
- (7) その他

本メソッドの授業内容への導入上の課題は多様だが、常に挑戦の気持ちで、福祉の専門職養成、ソーシャルワーク実践の向上に努力していきたい。将来的には、バイリンガルソーシャルワーカー

一、バイリンガル臨床心理師・士の養成をはじめ、国際交流事業の基盤となる交換留学、語学研修、国際ボランティア活動、国際インターンシップ制度等を促進するための教育訓練・育成モデルの開発につなげたい。

他方、近年、コミュニケーションロボット（AIロボット）が、いろいろな福祉施設、あるいは語学教材の『おとも』あるいは『お友達』として、その役割が注目されてきている。外国語シャドーイング法の各種の技法を活用できる多様な可能性に注目しているのは筆者だけではない。特にコミュニケーションロボットを導入した、高齢者のための回想法である。認知症高齢者の認知能力を維持、促進するための回想法の展開は、ユニークで斬新な活動の一つとなりえる可能性を秘めている。

また、前述のごとく、高齢者施設でのレクリエーションプログラム（機能回復運動、カラオケ等のお楽しみ会の開催）を促進するグループワーク活動への導入は、興味ある動きでもある。コミュニケーションロボットのためのグループワーク支援は、多くの課題を持っているが、『ソーシャルワーカーwithコミュニケーションロボット』といった協働活動はありえる。グループ活動の活性化は大いに期待できる。見守りAIロボットもさることながら、それ以上の活躍が見込める。AIロボットの導入によるソーシャルワーク支援活動の展開は、無限大ではあるが、あくまでもソーシャルワーカーをはじめ、援助専門職との協働は必須条件であることを最後に強調しておきたい。

### 引用文献

- 鳥飼玖美子・玉井健・染谷泰正・田中深雪・鶴田知佳子・西村友美 (2003) 『はじめてのシャドーイング』 学習研究社 p. 8 p. 11 p. 24 p. 27 p. 47 & 付録「通訳訓練に関する用語集」
- 村山正治・中田行重 (2012) 『新しい事例検討法 PCAGIP 入門』 創元社 p. 12

### 参考文献1 (日本)

- アレン・E・アイビー (2010) 『マイクロカウンセリング (福原真知子他訳)』 川島書店
- 岩田泰夫 (2007) 『シナリオで学ぶ SST』 中央法規
- 神波幸子・佐々木政人 (2010) 「ソーシャルワーク専門教育の教材研究 (1) & (2)」  
『愛知淑徳大学福祉貢献学部紀要』 愛知淑徳大学
- 鳥飼玖美子・玉井健・染谷泰正・田中深雪・鶴田知佳子・西村友美 (2003) 『はじめてのシャドーイング』 学習研究社
- 前田ケイ (1999) 『SST ウォーミングアップ活動集』 金剛出版
- 前田ケイ (2010) 『生きる力をつける支援のために：保護司面接のための SST マニュアル』  
日本更生保護協会
- 前田ケイ (2013) 『基本から学ぶ SST』 星和書店
- 村山正治・中田行重 (2012) 『新しい事例検討法 PCAGIP 入門』 創元社

### 参考文献2 (海外)

- Connolly, M. & McKenzie, M. (1999) Effective Participatory Practice: Family Group Conferencing in Child Protection. Aldine De Gruyter.
- Doolan, M. & Phillips, P. (2000) "Conferencing in New Zealand: Child Protection." Gale Burford & Joe Hudson (Eds.), Family Group Conferencing. Aldine De Gruyter.
- Pecora, P. J., Whittaker, J. K., Maluccio, A. N., & Barth, R. P. (2000) The Child Welfare Challenge. Aldine De Gruyter.
- Sheafor, B. W., Horejsi, C. R., & Horejsi, G. A. (2008) Techniques and Guidelines for Social Work Practice (8th edition). Mass.: Allyn and Bacon.

### 参考文献3 (教材ビデオ&DVD 等)

- 高橋重宏 (2015) 『子ども家庭福祉分野における家庭支援のあり方に関する総合的研究 DVD』  
平成 21 年厚生労働科学総合研究事業研究班
- 野村豊子 (不明) 『回想法：①回想法とは何か②セッションの流れ③技法と展開④ケアへの継続 VHS』 中央法規
- 林浩康 (2016) 『子ども虐待における家族支援 DVD』 新宿スタジオ (販売&貸出)

- 前田ケイ (1995) 『SST の実際：基本モデル初級編 VHS』 日本ルーテル大学社会福祉研究室
- 前田ケイ (2010) 『生きる力をつける支援のために：保護司面接のための SST マニュアル DVD 付き』 日本更生保護協会
- 前田ケイ他 (不明) 『生きる力を創る第1巻：SST の理論と役割 DVD』 ジェムコ出版・メディアパーク実際
- 前田ケイ他 (不明) 『生きる力を創る第2巻：SST の基本的技術 DVD』 ジェムコ出版・メディアパーク実際
- 前田ケイ他 (不明) 『生きる力を創る第3巻：SST の実際 DVD』 ジェムコ出版・メディアパーク実際
- 松山真 (不明) 『第1巻：初回面接での信頼関係の確立』 ジェムコ出版・メディアパーク
- 松山真 (不明) 『第2巻：ラポールの確立につながるノンバーバルコミュニケーション』 ジェムコ出版・メディアパーク

#### 参考文献4 (海外：教材ビデオ&DVD等)

- American Psychological Association (2007) 『Working with children who have experienced Neglect of Abuse with Wes Crenshaw, PhD (日本語字幕 濱野清志監修 DVD)』 APA
- American Psychological Association (2007) 『Bullying Prevention with Arthur M. Horne, PhD (日本語字幕 濱野清志監修 DVD)』 APA
- American Psychological Association (2007) 『Harm Reduction with High School Students with Mary E. Larimer, PhD (日本語字幕 濱野清志監修 DVD)』 APA
- American Psychological Association (2007) 『Consulting With Teachers with Jon Carison, PsyD, EdD and William Glasser, MD (日本語字幕 濱野清志監修 DVD)』 APA
- 不明 (1965) 『グロリアと3人のセラピスト：Three Approaches to Psychotherapy VHS』 古典であるが、先人に会えるチャンスである。クライアントとの問題・課題も含んでいると言われているが、そのことも含め多様な学びの機会を提供している。

#### 参考文献5 (語学教材・映画等のDVD)

- 大西泰斗 (2018) 『ラジオ英会話』 NHK 出版&DVD やその他の NHK メディア
- 遠山顕 (2018) 『遠山顕の英会話楽習』 NHK 出版&DVD やその他の NHK メディア
- ゲーリー・マーシャル (1999) 『カーラの結婚宣言：The Other Sister DVD 日本語・英語字幕あり』 ブエナビスタホームエンタテイメント
- 是枝裕和 (2005) 『誰も知らない DVD』 (株) バンダイビジュアル
- 堤幸彦 (2006) 『明日の記憶 (原作：荻原浩 光文社) DVD』 (株) 東映